

SPDR® SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETF: よくあるご質問

SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFとは？

SPDR SSgA アクティブ・アセット・アロケーションETFとは、オープン・エンド・インベストメント・カンパニーとして米国証券取引委員会 (SEC) に登録されているSSgA Active ETF Trustシリーズのことで、これらのETFには、SPDR SSgAマルチ・アセット・リアル・リターンETF (RLY)、SPDR SSgA インカム・アロケーションETF (INKM)、SPDR SSgA グローバル・アロケーションETF (GAL) が含まれます。

ファンドをどのように運用していますか？

各SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFの投資戦略は、ファンド・オブ・ファンズ方式によって運用されます。ファンド・オブ・ファンズ方式では、主にSPDR ETFへの投資を行います。投資対象のファンドとして、SPDR以外の上場取引型金融商品 (ETP) も取り入れています。

ファンドを運用しているのは？

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ (SSgA) 内のインベストメント・ソリューション・グループ (ISG) が運用しています。ISGは戦術的資産配分 (タクティカル・アセット・アロケーション) を専門とし、1,600億米ドル超の資産を運用しています。そのうち、SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFを含む約190億米ドルについては、特定の市場価格のアノミーを活用しつつ、資産のリバランスによる投資リターンの上昇を求め、アクティブに運用されています¹。チームは、平均15年の投資経験を有する、50名を超える投資プロフェッショナルで構成されています。

投資方針は？

SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFが投資方針としているのは、規律ある系統的なプロセスこそ、市場の一时的な価格誤差により世界的規模で長期的に発生する非効率な現象の把握に最もふさわしいという考えです。このような機会を認識できるかどうかは、非効率の程度、こうした価格誤差の把握を試みるためのコスト、機会を予測する能力に左右されます。価格誤差は主に、従来の投資家の行動バイアスと、広範囲にわたる多様な資産クラスのリターンに適正な値をつける市場の能力に関する完全には及ばない効率によって存在します。

投資プロセスは？

ISGの3段階の投資運用プロセスとは、リスク環境を識別するための動的アプローチの上に築かれた、2つの投資規律を一体化させたものです。プロセスの第1段階では、市場サイクルの様々な段階でのリスク選好を識別する、SSgA Market Regime Indicator (MRI) を取り入れています。このリスク選好の識別により、戦術的資産配分プロセスのリスク水準目標を設定します。第2段階では、資産クラス内・資産クラス間および市場間の投資機会に存在する

要因を測定・適用することによって、市場の非効率性を把握する数量的モデルを利用します。これらの数量的モデルによって分析される要因には評価、モメンタム、センチメント、マクロ経済要因があります。第3段階では、数量的モデルによる生産を見直すため、グローバル拠点に渡るSSgAの運用チームが各資産クラスおよび各地域ごとに少なくとも月に一度会合を開き、原理的な視点を用いて、市場に影響を及ぼす恐れのある当該モデルに含まれない要因を組み入れています。これには、チームの経験、グローバルな視点、現地市場についての知識を含みます。最後に、ポートフォリオの構築段階で決定したポジションを、ファンド・オブ・ファンズ投資手法を通じて実施します。

SSGA MRIとは？投資プロセスにおいてどのように使用されていますか？

SSgA MRIは、株価指数の予想変動率、通貨ペア、リスク資産のスプレッドという3つの市場リスクセンチメント要因に基づいた、市場に先行する情報を生み出します。次に、現在の市況を危機、リスク回避、通常、リスク選好、ユーフォリアの5つの潜在的な市場環境の1つに分類します。SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFのリスク配分は、SSgA MRIにより決定したリスク・プロファイルに適合するように調節されることがあります。例えば、リスク回避の期間には、ポートフォリオが通常環境より少ないリスクをとる傾向にあります。

戦略的資産配分と戦術的資産配分の違いは？

戦略的な配分手法では、ポートフォリオの投資戦略およびリスク・プロファイル (例えば、固定で60%の株式と40%の債券) と一致した固定ルールに照らしてウェーティング (加重方法) に的を絞るために、資産クラスウェイトをリバランスします。このリバランスは、市場の状況に関わらず行われます。

戦術的配分手法では、運用マネジャーは戦略的なウエイトから始めますが、その後、他の資産クラスと比べて魅力的であると思われる資産クラスへの投資ウエイトを増やします。戦術的な手法では、運用マネジャーの見解に従い、価格誤差となる恐れのある資産クラスへの投資ウエイトを増やすまたは減らすことによって、どんな時でも市場の非効率性を活用することを目指しています。

戦略的ベンチマークとは？それをどのように決定していますか？

戦略的ベンチマークはファンドの特定の資産配分モデルに基づいて決定されます。つまり、各資産クラスの目標ウエイトをファンドの投資戦略と一致させます。この戦略的ベンチマークは、ファンドの戦術的資産配分手法が、戦略的ベンチマークと比較して超過収益を出しているかを評価する際に用いることができます。

ETFの経費率は？

各アクティブ運用ETFは経費率が異なります。SPDR SSgA インカム・アロケーションETF [銘柄コード: INKM] とSPDR SSgA マルチ・アセット・リアル・リターンETF [銘柄コード: RLY] の経費率は0.70%で、SPDR SSgA グローバル・アロケーションETF [銘柄コード: GAL] の経費率は0.35%です。

手数料はどのように構成されていますか？投資対象のETFの手数料は二重計上されていませんか？

各ETFの経費率には、ETF運営にかかわる全ての営業費用が含まれています。投資対象ETFの手数料は経費率の一部として計上されており、二重に計上されることはありません。つまり、SSgAに支払われるSPDR SSgA アクティブ・アセット・アロケーションETF運用のための運用報酬は、投資ファンドの手数料と経費に相応した金額によって低減されます。

投資対象のETFはSPDR ETFに限定されますか？

主な投資手法としてSPDR ETFが挙げられますが、投資手法をSPDR ETFファミリーに限定してはいません。

保有に関する日次の透明性はありますか？

保有に関する日次の透明性はあります。透明性の観点からすると、当社のアクティブ運用ファンド・オブ・ファンズETFと従来のパッシブ運用ETFとの大きな違いは、当社のバスケットが、個別株式銘柄または個別債券ではなく、組入れられたETFからなる点にあります。保有銘柄に関する日次の情報は、www.spdrs.comで入手でき、投資対象のETFがSPDR SSgA アクティブ・アセット・アロケーションETFの保有として表示されます。各投資家はwww.spdrs.comまたは他の提供者のホームページ上で、個々のETPの基礎となる保有を見ることが出来ます。

投資マネジャーがそれぞれの資産クラスにおいて戦略的にシフトする許容範囲は？

一般に、資産クラスの範囲は各ETFおよび資産クラスによって異なります。ただし、資産クラスのオーバーウエイトまたはアンダーウエイトの標準範囲は0から20%となります。

SPDR SSGA アクティブ・アセット・アロケーションETFは個別の指標のパフォーマンスに連動しようとしていますか？

従来のパッシブ運用のETFとは違い、SPDR SSgA アクティブ・アセット・アロケーションETFはアクティブ運用であり、指数を追跡または複製することがありません。ただし、各ETFは、戦略的ベンチマーク指数に対する自己のパフォーマンスを測定します。

ポートフォリオをどのくらいの頻度でリバランスしていますか？

各ポートフォリオに関して、通常、月次ベースのリバランスを行います。ただし、市況に応じて、それよりも頻繁に取引が行われる場合があります。

回転率の予想水準は？

各ポートフォリオは、1年に12回から18回取引されます。過去の経験に基づくと、年間およそ40%の回転率と同等になります。

SPDR SSGA アクティブ・アセット・アロケーションETFに投資するリスクは？

ETFは株式のように取引され、その価値は変動します。また、ETFの純資産を上回るまたは下回る価格で取引されることがあります。売買手数料とETFの信託報酬によって、収益は低下します。

全ての投資と同様、ETFへの投資にもある種のリスクがあり、ETFへの投資で損失が出る能性もあります。各アクティブETFは、投資対象ETFが投資している有価証券の直接所有権に関連するものと実質的に同じリスクにさらされています。これらのリスクには、特定の種類の有価証券または投資対象（例えば、普通株、債券、転換証券および優先証券、高利回り債、米国政府証券、モーゲージ関連証券またはモーゲージ関連コモディティ）、特定の地域（例えば、先進国または新興市場国）、特定のセクターまたは産業（例えば、農業、エネルギー、金属および採鉱、不動産）に対するリスクがあります。SPDR SSgA アクティブ・アセット・アロケーションETFへの投資に特有のリスクは、ETF資産がどの投資対象ETFに投資しているか、ETF資産がどのように投資対象ETFに配分されているかによって決まります。

SPDR SSgA アクティブ・アセット・アロケーションETFはアクティブ運用されているため、SSgAが選択した投資によって、ETFが、そのベンチマークまたは同様の投資目的を有する他のファンドと比べてマイナスのリターンになる事態を引き起こすというリスクにさらされています。リスクに関する詳細な一覧に関しては、個別のファンド目論見書およびSAIをご参照ください。

いわゆるレバレッジETFまたはインバース(逆張り)ETFを組入れる可能性はありますか？

当社の標準的な投資手法では、レバレッジETFまたはインバースETFへの投資を行いません。

市場がフロントランニング取引をすることはできますか？

フロントランニングとは、ファンドが注文を履行する前に、顧客の代わりに証券を取引する行為のことです。当アクティブETFに関しては、運用行動の前に取引することはできません。フロントランニングの実行可能性は、ETFを投資対象として用いることによって概ね排除されています。投資対象ETFの透明性は高く、加えて、各ETFの1日の取引はその日の取引が発生するまで開示されません。

SPDR® SSGA アクティブ・アセット・アロケーションETF
 - SPDR SSgA マルチ・アセット・リターンETF [銘柄コード: RLY]
 - SPDR SSgA インカム・アロケーションETF [銘柄コード: INKM]
 - SPDR SSgA グローバル・アロケーションETF [銘柄コード: GAL]
 詳細については、SPDRS.JPをご覧ください。

SPDR® ETFについて

SPDRETFはステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが提供するETFブランドで、投資家の皆様にそれぞれの投資戦略と正確に適合した投資対象を選択する柔軟性を提供しています。業界のパイオニアとみなされているステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、1993年に最初のETFとなるSPDR S&P 500®を設定し、現在世界最大のETF²となっています。現在、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは世界中で約3,040億米ドルのETF資産を運用しています。³当社のETFや投資方法に関する詳細な情報につきましては、以下にご連絡ください。

電話：03-4530-7152

メール：etf_japan@ssga.com

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー39階 Tel: 03-4530-7152
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第345号
加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会、投資信託協会、日本証券業協会

¹ SSgA、2011年12月31日時点

² ブルームバーグ、2012年3月31日現在

³ 2012年3月31日現在。この運用資産残高には、ステート・ストリート・グローバル・マーケッツLLCが販売会社として役務を提供するSPDRゴールドトラスト(2012年3月31日現在で凡そ687億米ドル)の資産を含みます。

本資料は、情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが作成したものをステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が和訳したものです。内容については原文が優先されることをご了承ください。本資料は各種の信頼できると考えられる情報・データに基づき作成しておりますが、弊社はその正確性・完全性を保証するものではありません。こうした情報は不完全であるか、要約されている場合があります。本資料内の意見は全て当社の判断で構成されており、事前に通知することなく変更される可能性があります。

<投資にかかるリスクについて>

ETFは、主に株式や債券などの有価証券、金などのコモディティ等、上場投資信託(ETF)、コモディティ上場投資信託、上場投資証券等に投資を行います。投資対象としている株式等の値動きにより、当ファンドの基準価額が下落することがあります。投資には、価格変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、為替リスク、カントリーリスク、市場リスク、金利リスク、流動性リスク、トラッキングエラー等、様々なリスクがあり、ETFも同様のリスクが伴います。これらのリスク要因により、投資資産の市場価格が下落する場合があります。その為、投資元本を割り込む恐れがあります。ETFには上場廃止リスクがあり、純資産規模が縮小するなど、運用が困難になった場合や、上場取引所の上場基準に合致しなくなった場合、上場廃止となることがあります。これらは主なリスクであり、ETFへの投資に係るリスクはこれらに限定されるものではありません。

<ETFの投資にかかる一般的な留意事項>

- ① 元本保証はされていません。
- ② ETFの一口あたりの純資産額と連動を目指す特定の株価指数等が乖離する可能性があります。
- ③ 市場価格とETFの一口あたりの純資産額が乖離する可能性があります。

<ETFにかかる手数料・費用について>

ETFを売買する際は、取扱いの金融商品取引業者の定める売買手数料がかかります。その他ETFを保有する際には、それぞれ個別に定められた費用がかかります。これらの費用には、運用会社・管理会社に支払う報酬、組入れ有価証券の売買の際に発生する手数料、監査費用等があります。これらは、運用の状況等によって変動するため、上限を示すことができません。当掲載情報は作成時点のものであり、市場の環境その他の状況等により予告なく変更されることがあります。

"SPDR[®]"は、Standard & Poor's Financial Services LLC(以下「S&P」)の登録商標であり、ステート・ストリート・コーポレーションがその使用許諾を得ています。また、"Standard & Poor's[®]","S&P[®]","SPDR[®]"および"S&P500[®]"は、S&Pの登録商標であり、ステート・ストリート・コーポレーションがその使用許諾を得ています。S&Pまたはその関係会社は、ステート・ストリート・コーポレーションまたはその関係会社が提供するいかなる金融商品のスポンサーではなく、これらの商品の内容に関する保証・販売・宣伝もしていません。またS&Pは、これらの商品への投資の適否に関して、いかなる意見表明もしていません。

その他のインデックス、登録商標に関しては、各会社及びその関係会社に帰属し、ステート・ストリートが特定の目的で使用許諾を得ています。本資料のETFの合法性や適合性について、インデックスあるいは登録商標の帰属する各会社及びその関係会社は、何ら判断を下していません。また、発行・後援・裏書・販売・宣伝されていません。インデックスあるいは登録商標の帰属する各会社及びその関係会社は、ETFに関していかなる保証も責任も負いません。また、ETFの資産運用や販売にしていかなる責任も負いませんし、管理運営に携わることもありません。

SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFは、ファンド・オブ・ファンズ方式によって運用されています。SPDR SSgAアクティブ・アセット・アロケーションETFはアクティブ運用されているため、SSgAが選択した投資によっては、そのベンチマークまたは同様の投資目的を有するその他のファンドと比較してETFのパフォーマンスが下回る可能性があるというリスクがあります。アクティブ運用のETFは、ある特定の指数のパフォーマンスの複製を目指すものではありません。

※取得のお申し込みにあたっては、必ず上場有価証券等書面又はその他の開示書類の内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。

※購入のお申込や売買手数料等につきましては、取扱いの金融商品取引業者(証券会社)までお問い合わせ下さい。

本資料の記載内容は2012年3月時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

© 2012年ステート・ストリート・コーポレーション - 無断複写・転載を禁じます。